

みはま

No

35

秋号

福井県美浜町議会

議会 だより

織田神社例大祭

例大祭は5月11日に行われ、神輿を担ぐ青年の色襦袢(いろじゅばん)が特長で昔からの伝統です。「王の舞」も子どもとその父(太鼓)、祖父(鉾持ち)で奉納します。(祭りシリーズ)

9月定例会	2~3
9月補正予算概要・第4回臨時会	4~5
常任委員会の動き	6
一般質問	7~11
議会と語ろう会	12~13

現地視察・全員協議会・町村議員研修会	14
レガッタ	15
知っ得議会シリーズ⑩	15
姉妹都市提携30周年記念事業	16
編集後記	16

平成29年度歳入歳出決算を認定

9月定例会



9月定例会の本会議

9月定例会が9月5日から21日までの17日間で開催されました。
この9月議会は前年度の決算を認定する議会で、平成29年度一般会計の支出決算は90億1208万円で前年比10億6149万円の減額となり、議会で認定されました。

また、特別会計と上水道事業会計（企業会計）も決算認定されました。
今年度の9月の補正予算も上程され、追加案件で教育委員会委員の任期満了に伴う任命も承認されました。

山口町長が今限りで 退任を表明

28年度の一般会計歳出決算額は90億1208万円で、医療・介護福祉関係等の特別会計の歳出決算は41億2295万円、また、上水道事業会計で2億6476万

円の出費となり、歳出合計が133億9979万円となりました。9650人の町民で割ると1人あたり約138万8千円使ったこととなります。（一般会計では1人あたり約93万3千円）主な減額になった要因は、エネルギー環境教育体験館「さいばす」、原子力防災関係の施設（竹波原子力防災センター・美浜東小学校体育館）や国体関係の

施設改修工事の完成に伴い前年比減額となりました。

9月の補正予算では4億2351万円が追加され、主な補正は5ページに記載しました。

一般質問は2日目に5議員が行い、最初の竹仲議員の質問で、山口町長の来年に行われる町長選挙の出馬についての質問があり、山口町長は今限りで退任するとの表明がありました。追加案件では、教育委員会の岸上厚子委員の任期満了（9月30日）に伴う新委員の任命同意を求める議案があり、菅浜区の高木和彦氏が任命承認されました。



山口町長が退任を表明

平成29年度 一般会計歳入歳出決算の認定

◎平成29年度 一般会計歳入歳出状況

平成29年度の一般会計と特別会計並びに上水道会計(企業会計)の決算が認定されました。前年度より10億6千万円の減額となりましたが、過去10年間で3番目に大きい数字となりました。

詳細の内容は表のとおりです。

◎歳出の状況 (単位: 万円、%)

款	平成28年度	平成29年度	比較増減	増減率	構成比
議会費	9,458	9,145	△313	△3.3	1.0
総務費	235,945	203,414	△32,531	△13.8	22.6
民生費	142,132	143,177	1,045	0.7	15.9
衛生費	125,532	122,132	△3,400	△2.7	13.6
労働費	3,843	3,841	△2	△0.1	0.4
農林水産業費	75,272	84,643	9,371	12.4	9.4
商工費	68,773	57,964	△10,809	△15.7	6.4
土木費	104,835	105,013	178	0.2	11.6
消防費	73,451	29,163	△44,288	△60.3	3.2
教育費	132,784	101,643	△31,141	△23.5	11.3
公債費	35,332	37,582	2,250	6.4	4.2
災害復旧費	0	3,491	3,491	皆増	0.4
歳出合計	1,007,357	901,208	△106,149	△10.5	100.0

◎歳入の状況

(単位: 万円、%)

款	平成28年度	平成29年度	比較増減	増減率	構成比
町税	269,407	289,413	20,006	7.4	30.3
地方譲与税	5,360	5,335	△25	△0.5	0.6
利子割交付金	166	303	137	82.5	0.0
配当割交付金	471	616	145	30.8	0.0
株式等譲渡所得割交付金	280	642	362	129.3	0.0
地方消費税交付金	18,393	17,826	△567	△3.1	1.9
自動車取得税交付金	1,208	1,508	300	24.8	0.2
地方特例交付金	308	350	42	13.6	0.0
地方交付税	96,405	86,707	△9,698	△10.1	9.1
交通安全対策特別交付金	101	87	△14	△13.9	0.0
分担金及び負担金	11,767	12,671	904	7.7	1.3
使用料及び手数料	8,826	9,300	474	5.4	1.0
国庫支出金	183,805	214,334	30,529	16.6	22.5
県支出金	158,158	155,533	△2,625	△1.7	16.3
財産収入	1,016	14,928	13,912	1,369.3	1.6
寄附金	13,053	15,789	2,736	21.0	1.7
繰入金	173,561	11,325	△162,236	△93.5	1.2
繰越金	42,302	45,679	3,377	8.0	4.8
諸収入	15,149	19,384	4,235	28.0	2.0
町債	53,300	52,818	△482	△0.9	5.5
歳入合計	1,053,036	954,548	△98,488	△9.4	100.0

平成29年度 特別会計別決算状況

会計名	歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引額
診療所事業特別会計	1億3,349万円	1億3,142万円	207万円
国民健康保険事業特別会計	14億4,328万円	13億5,431万円	8,897万円
後期高齢者医療事業特別会計	1億1,484万円	1億1,443万円	41万円
介護保険事業特別会計 (介護保険事業勘定)	11億9,538万円	11億3,108万円	6,430万円
介護保険事業特別会計 (介護サービス事業勘定)	380万円	380万円	0
簡易水道事業特別会計	1億2,776万円	1億929万円	1,847万円
集落排水処理事業特別会計	2億1,691万円	2億1,679万円	12万円
公共下水道事業特別会計	4億9,349万円	4億9,329万円	20万円
産業団地事業特別会計	2億495万円	2億239万円	256万円
住宅団地事業特別会計	6,238万円	6,019万円	219万円
道路用地取得事業特別会計	3億6,548万円	3億596万円	5,952万円
合計	43億6,176万円	41億2,295万円	2億3,881万円

平成29年度 企業会計決算状況

企業会計	収入額	支出額	収入支出差引額
上水道事業会計	1億6,343万円	1億5,926万円	417万円
	資本的収支	5,672万円	1億550万円
			△4,878万円

※ 資本的収入額が資本的支出額に不足する額 4,878万円は、過年度及び当年度損益勘定留保資金で補填した。

2億3,300万円を積立 9月補正予算概要

9月の一般会計補正予算は4億2,351万円が追加されました。主な事業には、前年度決算で生じた剰余金の半額となる2億3,300万円を財政調整基金として積み立てました。

その他、企業誘致促進事業や除雪対策費が1億1,380万円計上されました。

9月補正での大きな金額は前記した3つの事業が約8割を占めます。残りの2割が次の事業の開事業費となります。

総務費では、国体に間に合わせてプレオープンした健康楽膳拠点施設（こるぱ）の運営事業費で、施設のPRや委託料に675万円計上されました。

民生費・衛生費では、介護保険事業特別会計の繰出と楽膳の里運動の備品購入に80万円、農林水産業費として県単小規模土地改良と中山間整

備事業工事、さらに林道改良工事の合計額として2,570万円、水産関係で200万円、土木費の集落コミュニティ施設整備と道路維持管理、改良工事、河川・砂防工事の合計として2,553万円を補正しました。

商工費では、敦賀半島ゾーンのイベント開催準備委託として180万円、教育費全般で864万円、災害復旧費として500万円が計上されました。詳細は表のとおりで、主な事業の写真を掲載しました。

平成30年度 一般会計9月補正予算の概要

**30年度 一般会計補正予算(9月) 4億2,351万円を可決
補正後予算総額 85億278万円**

歳出予算の内訳（主要事項） ●：新規事業

（単位：万円）

款	補正額	主要事項	金額	事業概要等
総務費	23,975	● 健康楽膳拠点施設運営事業	675	健康楽膳拠点施設の維持運営・管理に必要な経費及び健康情報発信支援業務委託料等
		財政調整基金積立金	23,300	平成29年度歳入歳出決算上生じた剰余金（繰越金）の1/2を積立てる。
商工費	5,330	企業誘致促進事業 （立地助成金・雇用促進奨励金）	5,150	企業誘致条例に基づく立地助成金・雇用促進奨励金の交付 北陸ヒーティング株式会社
		敦賀半島西海岸ゾーン 整備事業	180	地域資源を活用した観光振興と地域活性化を目的とするイベント開催準備支援業務委託料
土木費	8,799	● 道路除排雪機械購入補助金	600	町道の除雪協力業者に対する道路除排雪機械購入補助

平成 30 年度 9 月補正予算会計別予算の状況

(単位：万円)

会 計 名		補正前の額	補正予算額	計 (補正後予算額)
一	般 会 計	807,926	42,351	850,277
特 別 会 計	診 療 所 事 業 特 別 会 計	15,185		15,185
	国 民 健 康 保 険 事 業 特 別 会 計	118,049	2,590	120,639
	後 期 高 齢 者 医 療 事 業 特 別 会 計	12,058		12,058
	介 護 保 険 事 業 特 別 会 計 (介 護 保 険 事 業 勘 定)	120,456	3,279	123,735
	介 護 保 険 事 業 特 別 会 計 (介 護 サ ー ビ ス 事 業 勘 定)	1,010		1,010
	簡 易 水 道 事 業 特 別 会 計	21,284		21,284
	集 落 排 水 処 理 事 業 特 別 会 計	16,645		16,645
	公 共 下 水 道 事 業 特 別 会 計	52,792		52,792
	産 業 団 地 事 業 特 別 会 計	894		894
	住 宅 団 地 事 業 特 別 会 計	7,553		7,553
	道 路 用 地 取 得 事 業 特 別 会 計	26,545		26,545
	小 計	392,471	5,869	398,340
上	《 企 業 会 計 》 水 道 事 業 会 計	30,640		30,640
合 計		1,231,037	48,220	1,279,257

第4回臨時会

7月25日に、第4回美浜町議会臨時会が開催されました。議案は「平成30年度美浜町給食センター厨房機器等更新工事請負契約について」の1件で、7月18日に指名入札に付し

た給食センターの更新工事について、落札業者や工事内容に関する説明を受けました。本会議において、請負契約を締結する採決が行われ、全員賛成で可決承認されました。



美浜町健康楽膳拠点施設「こるぱ」プレオープン記念式典



新築移設した北陸ヒーティング株式会社

常任委員会の動き

予算決算
常任委員会

付託案件15件

◎平成29年度 美浜町一般会計歳入歳出
決算の認定について

【町の財政状況】

問 軽自動車の滞納が3・5%あるが、ペナルティは無いのか。

答 車検には町が発行する納税証明書が必要のため、納税しないと車検が受けられない。バイクなど車検が不要な部分については、督促、差し押さえ等に対応している。

問 物件費、委託費の増加は今後も増えて良いのか。歯止めが利かない状況なのか。

答 交付金事業のエネルギー構造高度化・転換理解促進事業等により、多くの事業を実施している。今年度は増える見込みである。

問 委託費として、太陽光や風力発電の調査事業に3〜4千万円掛けているが、地元業者に出来ないのか。

答 地元業者が一番良いと考えるが、難しい業務委託となるので東京の業者となる。

問 将来負担比率の推移だが、1000を切ってほしいが、目標設定はどうか。

答 下がるか即答は出来ない。税収等の結果によって変わるが、努力はしていきたい。

問 町づくり基金が、平成20年の時は14億円あったが2億円までになった。今後の積立の状況・考え方はどうか。

答 住宅団地の造成などに使っており、今後売上げを基金に戻していく。

【歳出】
（総務費）

問 公共交通のコミュニティバスについて、問題点は上がっていないか。

答 主な利用者である高齢者や高校生にアンケート調査を行いながら、できるだけ要望を取り入れられるよう改善に努めており、公共交通会議においても同じく改善に向けた協議を行っている。

問 エネルギー環境教育体験館の事業で追尾式太陽光発電施設を設置したが、施設に寄与しているのか、現状を伺いたい。

答 日中、晴天の場合、施設の使用電力量の全てを賄えるという状況である。曇天や雨の日は、相当発電電力量は落ちるが、全体では余剰電力もある。

（民生費）

問 保育園の維持管理事業で、病気の子どもではなく、保護者が病気になる時にその子どもを見るといふことだが、この保育士の非常勤の場合はどういう方を予測して入れたのか、それとも園の運営に関して入れているのか。

対応出来るようにしたのか、どのような意味を持つのか。

答 現在、40人程度の非常勤の方がいる。理由の一つとしては、平成27年の児童福祉法改正に伴い、標準の保育時間が11時間になり、朝の7時半から18時半までが標準保育となったことから、正規職員以外の方が必要となったためである。2つ目に、美浜町では手厚い保育をしている関係で、例えば、5歳児の場合、国の基準は30人に1人のところ、気がかりな児童等の対応に30対1ではなく30対2、あるいは3という形で保育士を充実させている。そういった部分で保育士を確保している。

（衛生費）

問 廃棄物処理事業の広域化事業だが、処分場の計画を委託してどうなったのか。

答 最終処分場に関する事業を敦賀市に業務委託しているが、1105万円計上している。内訳は、施設の基本設計、環境アセスメント、用地の測量、物件補償を29年度に実施している。地権者と交渉中なので今の内容の公表は出来ない。

（農林水産業費）

問 機構集積支援事業だが、農地中間管理機構が出来たことにより、美浜町の農地集積が進んでいるのか。

答 平成29年度末で47%、県下第4位となっている。

（商工費）

問 三方五湖ゾーン整備事業で、遊覧船導入の可能性調査に1825万円が計上されているが、遊覧船の導入は町の観光経済にとって有効性があるのか。

答 平成29年度から30年度も実施する方向で可能性調査を進めている。ソーラー船が電動モーターを主軸に動くのか等を検討してきた。町の観光にとって有効性があると考えている。

（梅津記）

総務文教常任委員会

今回は、両委員会に付託された議案が無かったため、総務文教常任委員会では「空き家対策」に関する研修会を開きました。研修会では、美浜創生戦略課の担当者から説明を受けた後、町内の空き家の現状や今後の課題について話し合いました。なお、この議題に関しては、11月の「議会と語ろう会」において意見交換を予定しています。

産業厚生常任委員会

産業厚生常任委員会では、今年度から新たに始まった「げんげん歩楽寿（ぶらす）運動」のプログラムについて、健康づくり課のレクチャーを受けました。今までの取組みを踏まえた第2期「健康みはま21後期計画」について説明を受け、食プラス運動の環境づくりの計画と実践活動について研修を行いました。

一般質問

9月定例会では5人の議員が一般質問に立ち、町行政のあり方について、問いただきました。質問、返答については質問者の文責で掲載しています。



竹仲 良廣 議員

山口町長次期町長選の再出馬は？ 今期限りで引退を決意

問 来年2月に実施予定の町長選挙に再出馬されるのか。

町長 私が当初目指していた施策がほぼ達成した。年齢等も考慮しながら次期町長選には出馬しない。

問 美浜町の今後の課題はなにか。

町長 人口減少、少子化問題が最大の課題であり、地球温暖化による災害の頻発に対する対策も必要。また、美浜エネルギープランの推進、原子力エネルギーの推進が重要と考える。

問 美浜町の人口は現在、9642人と減少が進行している。今後、近隣市町との合併や連携をどのように考えるか。

町長 当面は合併の必要性はないが、近隣市町との共同化は

必要と考える。従来から取組んでいる若狭町との十分な意思疎通をはかりながら、敦賀市との連携を強めて行く必要性を感じる。

問 今後の町政をどの方に託したいと思うか。名前の公表はできないか。

町長 名前の公表はできないが、大きな柱を継続して、今までの町政を推進していただける方を応援する。

耳河川の老朽化が進行、対策は大丈夫？ 知事、関係機関に毎年要望、パトロールも実施

問 近年の台風で耳河川の崩落、崩壊が続出しており、また、老朽化が進行している。壊れてから直す事後保全対策で大丈夫か。

町長 耳河川の維持管理は県が主体的に行っており、そこには毎年要望をしている。

土木建築課長 現在11ヶ所の災害復旧を実施しており、未実施の松屋の山の斜面崩落については早急に対応する。

問 今年7月の西日本豪雨災害において、各所で砂防ダムが崩壊し甚大な被害が出た。耳川

上流にも数多くの治山堰堤や砂防堰堤があり、それらのすべてが土石で満杯状態である。これらは本当に大丈夫なのか。

土木建築課長 堰堤が満砂状態でも一時的に貯蔵する機能調整ができる。また、栗柄砂防堰堤は5年に1度機能調査を実施し、異常なしの結果が出ている。次回は平成32年に調査予定である。

問 全国的に異常気象が続いており、予想をはるかに超える災害が発生している。堰堤の崩壊防止のため、堆積土砂を長期にわたり浚渫するなどの対策が必要と考えるが。

土木建築課長 耳河川は県土木管理であり、県の回答は堰堤の本来機能は保たれており、浚渫の予定はない。

問 行政の第一使命である生命と財産を守る観点から、毎年2000万円程度を捻出し、美浜町自ら浚渫を行えないか。

町長 美浜町自身がやらなければならぬ防災対策は山ほどある。国、県、各自自治体それぞれの役目として行うべきであり、国、県には引き続き要望活動を行っていく。

美方ケーブルネット光回線への移行は？ 今後は民設民営で運営を検討

問 テレビ、インターネットなどの通信環境は飛躍的に進化している。美方ケーブルネット環境は時代遅れになりつつあるが、今後をどのように考えるか。

町長 指摘のように老朽化が進んでいることから、今後の運営方針の検討を始めている。

問 MMネットの今後はどうなるのか、具体的に説明していただきたい。

企画政策課長 設備の更新に多額の費用面を要することから、現行の公設公営から民設民営へ移行して行きたい。町内の情報番組、行政チャンネルや音声告知放送は継続して提供できる体制を考えている。

意見 国は2020年の東京オリンピックを目標に新たなテレビ通信方法を検討している。インターネット分野も進化が著しい。美浜町の通信環境もそれに乗り遅れないように、早急な対応をお願いする。



兵庫 賢一 議員

町の防災対策の現状を問う

問 10年ほど前から、町内各
地区・職域に自主防災組
織が立ち上げられ、活動が進
められてきている。組織の育
成強化が差し迫った課題と言
えるが、町内での進捗状況は
どうか。

エネルギー政策課長
自助・共助・公助の立場
から、平成22年度より各
地区へ出向き説明会を実
施、23年度から町が経費を負
担する補助制度を創設してき
た。現在、町内では18の組織
が設立されている。27年度か
らは、県主催のリーダー育成
の養成研修への参加を呼びか
けている。

問 学校など町の施設の耐震
化はほぼ完了しているが、
集落などの施設の耐震診断・耐
震対策の進捗状況はどうなっ
ているか。集落のセンターを避難
所と位置づけているが、避難所
として、機能の面・立地条件の

点で疑問を持たれている。改善
策は考えているのか。

エネルギー政策課長
集落センターは一時避難
所で、一時的に身を守る
施設として位置づけてお
り、56年以前の施設は21施設
あり、6施設が診断を受けた
が現在改修されたところはない。
国の交付金制度を活用し、
集落センターの集会所耐震診
断等補助金交付制度を作っ
てある。最大対象経費の3分の
1、上限は1千万円である。
これを町が補助する公共施設
等整備補助金交付制度を設け、
耐震化促進の支援をしている。

問 避難所には、今日の過酷
な気象条件等を考慮する
と、居住環境への配慮が課題と
なっている。町内の施設の現状
に課題は無いのか。特に学校等
への手当ては急務である。

エネルギー政策課長
エアコンの整備につい
ては、学校施設のうち教室
は、学校施設のうちの教室
館と総合体育館は整備されて
いるが、その他の体育館はない。
施設の利用方法、国等の今後の
施策等を総合的に勘案しなが
ら、必要な対策を検討してい
きたい。

問 避難所として民宿・ホテ
ル・空家の持ち主等と協
定を結んでおき、普段から不

測の事態に備えることも必要
かと考える。町の取組状況を
聞きたい。

エネルギー政策課長
民宿・ホテルの活用につ
いては、今後観光協会
とも連携しながら検討し
ていきたい。空家については、
選定と所有者の理解、ライフ
ラインの活用がすぐ出来る状
況にあるかが課題になると考
える。

問 道の駅に防災機能を備え
る計画と聞くが、どの程
度のことを想定しているのか。

土木建築課長
近年、全国で道の駅が防
災機能の一端を担う例が
増えつつある。災害に伴
う帰宅困難者等の緊急避難場所
として、トイレ・食糧・日用品
の提供を行う防災拠点にとの意
見を踏まえながら計画を策定し
たい。断水時でも使用可能なト
イレ、非常電源、防災備品倉庫
等を整備したい。

企業誘致と地場産業の育成について

問 補正予算の商工費で、初
めて地元企業に企業誘致
条例が適用された。地元企業
育成の今後の方向や適用指針
などを明確に示して頂きたい。

商工観光課長
工場等の新設に対する企
業立地助成金は、もちろ
ん町内に立地する企業が
増設したり移設したりする場
合も助成の対象となる。申請
時のサポートもしっかりして
いきたい。

問 朝市やその他でも地場産
品の不足が指摘されてい
て、道の駅でも商品が足りるの
かなどと指摘されている。町内
には小さな農家が多く、趣味で
園芸されている方も沢山おられ
る。その生産物の有効活用と道
の駅などでの品不足を同時に解
消出来るようなシステムづくり
がまちづくりのためにも必要と
言われているが、どのようにお
考えか。

農林水産課長
平成27年3月に定めた美
浜町農業基本計画をもと
に、「強い農業・もうける
農業」「生きがいづくり・村づ
くり農業」の2つを基本理念に
施策を展開している。集荷シス
テムの構築については、地域づ
くり拠点化施設の運営者が決ま
り次第、集荷体制やPOSシ
ステムの導入など、出荷者の負
担軽減を図る仕組みづくりにつ
いて、国の助成制度の活用を含
め検討していきたい。

質問、返答については質問者の
文責で掲載しています。



河本 猛 議員

**H19年度版の改訂ではなく、
刷新が必要だ！「きいばす」
エネルギー環境教育**

問 現在、衰退する原子力産業の人材育成、人員の確保のための教育など、原発推進教育と捉えられない取り組みが必要だ。改善するべきは、カリキュラムと教育内容の位置づけである。平成19年度版の改訂ではなく、刷新することが必要だ。

町長 町として、原子力を推進している現実がある。このことから「きいばす」が「エネルギーと環境」ではなく、「原子力と環境」と間違って捉えられないかという思いを持っていた。

「きいばす」は、自分たちの生活や地球の環境を守りながら、エネルギーを得るということの大切さを学んでほしいという思いがある。

そこで、「きいばす」は原子力発電に特化して学ぶ施設ではありませんという説明をしている。
また、エネルギーと環境教育の重要性を文科省にも訴えてきた。たしか平成33年と言われたと思うが、文科省から学習指導要領にしっかりと盛り込んでいくという回答を得ている。

**経済的交流に発展させ、地域振
興に役立てるべきだ！美浜町・
台湾石門区 姉妹市締結30年**

問 今後40年、50年と両地域の交流関係を継続し、発展させていくためには、共通するエネルギー問題や観光資源の問題で、両地域の実質的な経済に好循環を与える取り組みが必要だと考える。人的交流も含めた経済的交流に発展させて、この取り組みをお互いの地域振興に役立てていく必要がある。

例えば、美浜町と石門区が互いに物産品を販売したり、PRできるような環境づくりが必要だ。

町長 石門区にウーロン茶を持ってきていただいて販売した

こともあったが、継続は出来なかった。そういう方向性を念頭に置いて進めていくことが重要だと思っている。これは行政だけでは出来ないの、民間団体から始まるのが一番良いと思っている。

**公共施設で死傷事故を起こさないよう再点検が必要だ！
学校の危険なブロック塀対策**

問 子どもの安全が最優先されなければならない学校で、危険なブロック塀が数多く存在し、放置されてきたことは重大であり、早急に解決しなければならぬ。廃校や廃園になった施設も含めて、公共施設で死傷事故を起こさないよう再点検が必要だ！

教育政策課長 小中学校の施設並びに学校再編をした後の施設、敷地を点検したところ、施設内に危険なブロック塀の存在はなかった。しかし、小学校に3メートルほどの高さの門柱があり、この安全性について、早急に点検を依頼している。危険であると判断されたものに関しては、撤去あるいは補強する。また、町全体での

対策も必要と考えている。
障害者雇用促進法は、数合わせをすればよいという制度ではない！自治体の障害者雇用の不適切な算入処理

問 国の多くの中央官庁が障害者雇用率を水増し偽装していたことが発覚した。地方自治体でも同様の水増し偽装が相次いでいる。法定雇用率を定めた障害者雇用促進法は、数合わせをすればよいという制度ではない。数字を見るだけではなく障害者の雇用実態や労働環境を検証しなければならない。
美浜町では障害者雇用率の水増し偽装は行われていないか。

総務課長 本町の現状は、雇用する障害者の実人数は2人。そのうちの1人は、この法律で規定している1人を2人としてカウントする重度身体障害者の方である。したがって、法定雇用者数の3人を満たしているという状況である。水増し偽装は行っていないと確認している。

9月定例会では5人の議員が一般質問に立ち、町行政について、問いただきました。



梅津 隆久 議員

近年の異常気象による大雨・集中豪雨災害防止対策について問う

問

自然災害には土砂災害の発生確率が高いことから砂防堤の建設が各地区山間部の谷間に必要と考えるが、町として設置を保留している、もしくは建設計画を進めている箇所をお聞きたい。

町長

町でしっかりとめて県管理施設・国の管理施設に区分し、それぞれ要望している。

土木建築課長

農林水産省管轄の治山事業では、丹生、竹波地区、新庄の奥で実施している。また、国土交通省所管の砂防堤について現在実施している所はないが、耳川、佐柿区から増設の要望が出ている箇所については、事業化できるよう県に要望していきたい。

問

平成13年4月に土砂災害防止法が制定され、土砂災害特別警戒区域指定として17年度には県内7000箇所、美浜町内220箇所が提示された。町内では15%の箇所が一応対策工事済となっているが、近年の危険箇所と対策実績はどうか。

土木建築課長

17年以降、順次対策と指定を進めているが、26年度では県内1万1660箇所、町内386箇所となっている。該当地区には住民説明会も実施している。県に対し、事業化に向け要望しているところである。

問

美浜町として小学校再編の目的はどうであったのか。

美浜町小学校再編3年経過後の総括として結果を問う

教育長

少子化により児童数が年々減少していく状況を踏まえて、本町の児童がより健やかに学べる教育環境を整えるために再編に踏み切った。

教育政策課長

集団の中で認め合ったり、協力しあったり、切磋琢磨するという競争力であったり、社会性や協調性、たくましさを育むということが大きな目標である。

問

児童の学力向上はどうか。

教育政策課長

学力だけでは無く体力向上が図られた。1学年20〜30人編成され、年齢、発達段階に応じた指導が可能となった。

問

児童の競争力向上はどうか。

教育政策課長

人数が増えたことにより、競争心が刺激されて得意な子は更に磨きをかける、苦手な子は追い付くようにと意欲的な取り組みが多く見られた。集団の中で多くの児童がかかわりあって人にもまれながら成長していると聞いている。

問

児童の発表力向上はどうか。

教育政策課長

積極的に挙手し発表する機会に恵まれ、大人数の中で自分をしっかりアピールしているという。

問

保護者等地域の声はどうか。

教育政策課長

新庄、菅浜一区一校の地域では、学校と地域の繋がりが薄れることを懸念していたが、挨拶、地域の祭礼、子供会活動、校外学習で地域との愛着を深めている。

問

再編による行政としての経済効果は。

教育政策課長

小学校管理費は6300万円から約3300万円に減額されたが、スクールバスの運行費に約2200万円掛かることから、この差額が管理費的な経済効果となる。

質問、返答については質問者の
文責で掲載しています。

企業誘致の相乗効果は



辻井 雅之 議員

問

美浜原発1・2号炉の
廃炉に伴う将来の不安
は否めない。町もそれに対応
して新たな企業誘致や新しい
農業の開発も進めている。そ
れらの支援に対する相乗効果
はどのようなものか。

町長

山上産業団地に2社、
空いていた松原工業団
地に1社が進出された。野菜
工場も2社、また農業アク
シヨンプランで地元2社、つ
い最近、嶺北から種苗生産会
社も進出された。漁業の振興
でも、熟成魚の工場から東京
へ美浜の魚介類も送ってい
る。町でも活気が見られ、さ
まざまな取り組みが現実化し
てきた。

美浜創生 戦略課長

産業団地進出の企業も
まだ1年少しの経過と
7月に竣工したばかり
で現状の把握は難しい。農業
関連の企業も来ていただいて
いるが、本格操業には至って
いないため、相乗効果の説明
は出来ないが、産業振興の大
きな弾みになっていいると考
えており、行く行くは経済効果
等についても数値で表せるよ
うにと考えている。



エア・ウォーター防災(株)が進出

問

美浜創生 戦略課長

これらの企業の地元雇用
は何人くらいになるのか。
野菜工場2社で16名、誘
致企業が15名、増設工場
では6名を新たに採用し

ふるさとナンバープレートの 交換状況は

ている。他の誘致企業2社は
将来的に30名と12名の雇用を
計画している。地元の農業関
連でも新たな雇用が発生して
いる。

問

「美し美浜のふるさとナ
ンバープレート」は、原
動機付自転車と農耕車のナン
バープレートのデザインを考
案し、町民からも選考しても
らい4種類作成した。地域の
愛着と動く広告塔という考え



郵便配達車のプレート

税務 課長

で無料交換が実施されている
が、交換の状況はどのような
ものか。
原動機付自転車は登録台
数396台中64台、農
耕用トラクター・フォークリ
フトは469台中27台で、全
体では10・5%となっている。
現在口コミも含め普及啓発を
展開している。

町の1年間の婚姻数と出生 数は

問

現在の美浜町の年間の婚
姻と出生の数は、過去と
比べるとどの位になるのか。

住民環境 課長

平成29年度においては
137件で、50年前は
291件で154件の
減少、また、出生届は108
件で50年前は297件あり、
189件の減少となっている。

意見

人口減少には若者の定住
化や優秀な人のI・U
タインの展開、大人よりも子
どもへの警鐘であつても良い
のではと考える。

議会と
語ろう会
1班

東地区1
丹生・竹波・菅浜
北田・けやき台

地域づくり拠点化施設「道の駅」
事業予算は？

【場所】竹波原子力防災センター

(参加者21名)

問 ◎参加者からの主な質問と回答
道の駅の立ち退き交渉はどう
なっているのですか。



竹波原子力防災センター(1班)

答 用地買収については、来年度より交渉に入る予定です。本年度に国と町が整備する部分の線引きを行い、その後、国と町のそれぞれで用地買収を行うこととなります。

問 事業予算としてはどの程度ですか。

答 今のところ明確になっていませんが、国と町で協議し事業規模を決定することとなります。資金の調達は、公民連携事業により国が40%補助してくれると聞いています。

問 町としての持ち出しは無いのですか。また、赤字経営にならないかが非常に心配です。

答 民間企業からの経営やアイデア等の提案を取り入れ、施設の設

計、建設、維持管理、運営に活用することで町の財政負担ができるだけ発生しないような手用を導入し、良質な公共サービスの提供を目指しています。また、議会としても、地域づくり拠点化整備特別委員会を作り検討を進めています。
(梅津記)



「健康楽膳施設こるば」とは

「子供達や大人が、農・食・健康を体感・楽しめる拠点」として県が整備している園芸研究センター内に、町が新設した地場産品主体のレストランと直売場を一体化した施設です。国体期間中の賑わいを目的に9月22日にプレオープンしました。来年春に正式オープンする予定です。

「地域づくり拠点化施設「道の駅」とは

「人々が集い・育み・美し美浜を体感できる交流拠点」をコンセプトに、美浜駅近傍に整備される施設です。道の駅の基本機能に加え、防災機能やJ R

地場産野菜など
供給能力はあるのか？

【場所】佐田公民館(参加者8名)

◎参加者からの主な質問と回答

問 大きな施設を2つも造るのは危険だと思っています。町民のふところに負担をかける事業は大きな悔いを残すと考えます。

答 健康楽膳拠点施設の建設・予算は議会で承認されていますが、慎重な意見や心配の声も多くあります。今後の行政の取り組みを注視していく必要があると考えます。

ネットの時代になり、SNSの発信には非常に大きな反応があります。お客を呼び寄せるためには、発信力が大切な時代なので、積極的な情報発信が必要だと考えています。道の駅については、地域づくり拠点化整備特別委員会をつくり議論しています。

問 健康楽膳拠点施設は、国体の時期が良いと思いますが、冬は人通りが極めて少ない場所なので問題があると思います。

答 確かに道から施設が見えませんが、看板を設置してもわかりにくい場所なので、知恵を絞って進める必要があると考えています。周知が不十分ですが、町は県の事業に

う会を開催

域づくり拠点化施設「道の駅」)の計画について、に、7月25日に町内3カ所で開催しました。



はあとびあ（3班）

議会と語ろう会 3班

耳地区1
新庄・雲谷・野口
佐野・上野・興道寺
寄戸・安江・五十谷

新しい施設には慎重を重ねて

【場所】はあとびあ（参加者23名）

◎園芸拠点施設について

問 美浜園芸拠点施設のグラントオープンはいつ頃でしょうか。また、指定管理者扱いになるとのことですが、現在手を挙げている業者や問い合わせはあるのでしょうか。

答 グラントオープンは来年の春頃で、県の園芸ラボ等の建物の完成と同時にあります。国体に合わせたプレオープン期間中は（株）レインボーラインが運営します。グラントオープン

議会と語る

『美浜の集客施設（「健康楽膳施設こるぱ」と「地住民のご意見をお聞きする。」をメインテーマ

を含めた交通連携機能を兼備し、再生可能エネルギーも活用する計画で、平成33年度中に供用開始の予定です。

（高橋記）

第2回議会と語ろう会は11月17日（土）午後7時30分から開催します。

【テーマ】空家対策について

【対象地区】

- 耳地区（河原市・南市・和田・木野・佐柿・麻生・中寺・宮代・小倉・栄）
- 南地区（気山・大藪・金山・久保・郷市・松原・久々子）
- 北地区（早瀬・笹田・日向）

お気軽にご参加ください。

後については、今後、指定管理者を選定していきます。

問 この施設の運営には、年々の評価や事前の調査も必要です。町の負担はいくらになるのでしょうか。

答 年間の利用シミュレーションは行い、概算の収支は計算してありますが、実際の利用者がそのとおりの数字となるのが問題です。施設的设计を含めた建設費は約1億4400万円、その半分は国の農山漁村振興交付金の補助、約7200万円は、町費で賄います。

問 ◎スマート・コンパクトシティ構想について
スマート・コンパクトシティにある子育て交流やイベント広場、防災機能の管理は誰が行うので

でしょうか。

答 「道の駅」の販売収益施設と合わせて、施設全体の管理についても指定管理者と協定を締結する予定です。

問 小浜線の美浜駅を含んだ位置設定に疑問があります。また、施設の成長には業者任せではなく継続した町の支援も必要ではないでしょうか。

答 4年後の新幹線敦賀駅延伸を見据え、小浜線利活用の構想を議会として提案していきたいと考えます。場所は町民のアンケートによるもので、駅の利用客や観光・産業・人口交流の拠点施設を目指します。議会としても「地域づくり拠点整備特別委員会」を設置しましたので注視していきたいと考えます。

（辻井記）

協力してコンセプト・テーマの「楽膳」と薬草の栽培を「げんげん運動」の中でも活用しようとしています。

問 道の駅と健康楽膳施設の双方で、地場産野菜などの供給が必要になるとありますが、美浜町にその能力があるのですか？

答 農産物の供給については、議会と行政とで協議してきました。行政は出来るだけ地場産でやると言っています。農林水産課、商工観光課などが連携してやるという意気込みを聞きましたので、その頑張り期待しています。

地場産の農産物の供給がうまくいっている所は、その町の生産者が作付け計画から関わっていると聞きます。美浜も早くそういう姿になるべきだと思います。

（河本記）



佐田公民館（2班）

現地視察

◎「福井しあわせ元気」国体ボート競技が久々子湖漕艇場で開催されるにあたり、1日2千名の来場者が予測されています。これに伴い、美浜町総合運動公園周辺の整備が進められてきました。特に、300名が座れる観覧席が設けられたほか、



300名が座れる観覧席

780mにおいて湖岸道路を改修、LED電灯が63基設置されました。国体終了後も各種大会、サイクリングロードとして大いに利用が図られるものと思われます。

◎次に、久々子湖近くの県園芸研究センター敷地内に整備された、レストランと直売所が一体となった健康楽膳拠点施設「こるば」について、22日のプレオープンを前に視察しました。この施設は、木造平屋建てで、レストランでは、町の「食による健康づくり」事業の一環と



健康楽膳拠点施設「こるば」の食堂

して、バイキング方式を取り入れ、旬の地場野菜やへしこ、パスタ、肉料理を提供していきます。湖畔の景色を眺めながら食事が出来る施設として、美浜のにぎわい創出を図っていきます。

◎最後に、佐野地係の(株)苗屋美浜農場を視察しました。この施設では、

接ぎ木室、育苗準備室、育苗ハウスを活用し、タマネギ苗、菊苗、栽培生産をはじめています。(北村記)



(株)苗屋美浜農場(佐野)

全員協議会

今まで以上に、より良い教育を目指して

去る9月19日、全員協議会が行われ、理事者側より2件の案件が提出され協議しました。

①美浜町教育委員会より自己点検評価報告書について

議員からは「評価は町民のニーズに合っているのか」「学識経験者の2名の方々は公表できないのか」等の

町村議員研修会

住民自治の根幹とは

去る8月23日、午後1時30分より、福井県自治会館にて、県内町議会議員講習会に参加しました。山梨学院大学法学部教授、江藤俊明氏をお招きし、「住民自治の根幹としての議会を行動させる」をテーマに、講演を拝聴しました。

主に、

①地方議会の最近の動向

②住民自治の根幹として、議会の条件

発言がありました。また、今後5年間に講ずべき教育に係る重点施策を示した『美浜町教育大綱』の説明もありました。

②庁舎空調設備等改修工事について

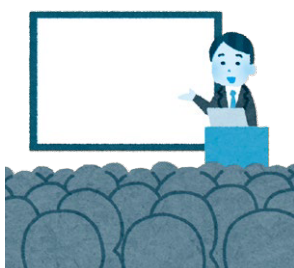
総務課長より、現在の庁舎設備について「補助事業を模索し、且つコスト削減を目指したい」「限られた工事可能期間の中で、効率良く改修工事を行いたい」等の状況説明がありました。

議員からは「CO2削減に役立つのか」等の発言がありました。

(仲寫記)

③議員のなり手不足の問題

について、お話を伺いました。①では、議会と住民のより良き関係と、地方自治の原則に由来した、あるべき姿の追及。②では、年間を通して、行政―議会―住民の関係を密にし、予算・決算の審査に生かす等々。③では、なり手不足とその解消の方向や課題について、詳しく学びました。(寺田記)



第31回つばたレガッタ・ 第27回全国市町村交流レガッタ

議会クルーは惜しくも
どのレガッタにも入賞ならず
(´-`);

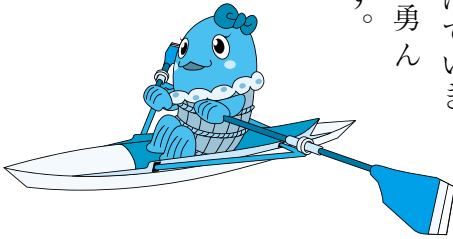
8月19日の「第31回つばたレガッタ」、9月15日・16日の「第27回全国市町村交流レガッタ大津大会」では、決勝に勝ち上がれませんでした。さらに今年の「敦賀港カッターレース」もまた惨敗でした。

4年毎にメンバーが変わることと、一年一年歳を取っていくことは仕方がないことです。

しかし、今後もお互いの市町の交流を主に、成績は出たところ勝負ということとで続けていきたいと、みんな勇んで活動しています。

福井しあわせ元気国体のボート競技天皇杯皇后杯制覇おめでとうございます。

(山口記)

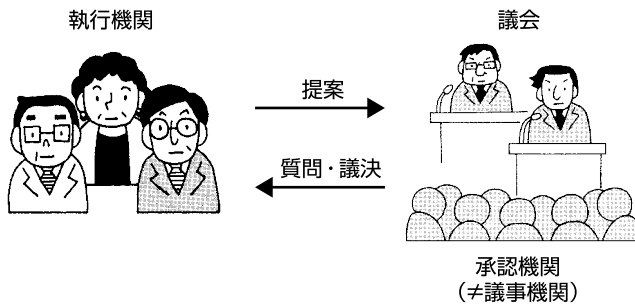


第27回全国市町村交流レガッタの表彰式

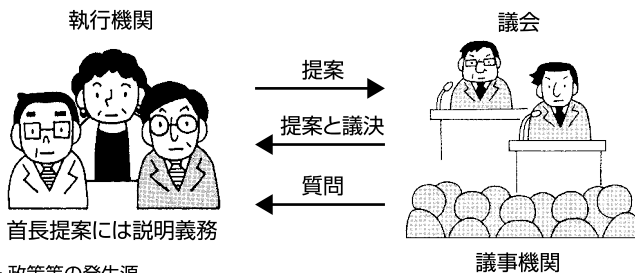


第31回つばたレガッタ (三方五湖クルー)

従来の首長と議会の関係



これからの首長と議会の関係



- ・政策等の発生源
- ・検討した他の政策案等の内容
- ・他の自治体の類似する政策との比較検討
- ・総合計画における根拠又は位置づけ
- ・関係ある法令及び条例等
- ・政策等の実施にかかわる財源措置
- ・将来にわたる政策等のコスト計算

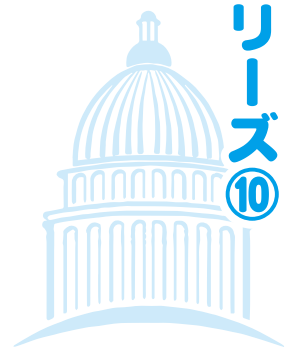
- ・支援制度の充実
- ・議会事務局の充実
- ・附属機関の設置

住民と協働する議会

議会は、行政の監視機能だけではなく、政策立案機能も担います。独任制である首長と、合議制である議会が切磋琢磨しながら自治体経営を担うという二元代表制(機関競争主義)の展開がポイントとなります。議会側から政策提案することや政策条例の議員提案を積極的に進めたり、地域経営の方向を議会として議決し執行機関に提案することも必要です。

(議会広報特別委員会)

知
っ
得
議
会
シリーズ⑩





美浜町・石門区姉妹都市 提携30周年記念事業



美浜町と台湾新北市石門区は、昭和63年8月に姉妹都市提携を結んでおり、今年8月に提携30年を迎えました。これまでの中学校間のホームステイ事業を軸とした30年に及ぶ交流により築かれた信頼関係をより強固にするため、8月4日に、30周年記念式典・祝賀会が石門区役所で開催されました。



石門区との意見交換会

当日は、町長をはじめ議会議員やライオンズクラブの会員、ホームステイの中学校生徒、今回一般募集に応募された方等101名が参加しました。

議会は、石門区長・関係職員・新北市議会議員・石門里長とエネルギー政策・観光振興につ

いて意見交換を行いました。エネルギー政策については、国を超えての活発な話し合いができました。

意見交換後は記念式典・記念植樹に出席し、石門区からの熱烈的な歓迎を受けました。その後、石門中学校体育館にて行われた祝賀会で

は、両町区の催し物が行われ、会場は終始温かい空気に包まれていました。

今後も、文化的、経済的に関係の深い石門区と美浜町との関係が、大きく発展することを望みます。

(藤本記)



議長から石門区長に記念品の贈呈

編集後記



今回は、町民の皆様との重要な活動「議会と語ろう会」の記事を2面にわたり掲載させていただきました。皆様方の貴重な意見やご要望を、今後の議会活動に役立たせていただきます。議会にとつての有意義な活動として、今後も「議会と語ろう会」を実施していきますので、多くの方のご参加をお願いします。

近年の異常気象は日本全国に甚大な被害を出しております。皆さんのまわりでもいつ発生するかわかりません。常に危険予知を心がけましょう。

(竹仲記)

美浜町議会広報特別委員会

- 【委員長】 辻井 雅之
- 【副委員長】 寺田 順一
- 【委員】 竹仲 良廣・兵庫 賢一
- 山口 和治・崎元 良栄
- 高橋 修